

山内議員

総合戦略における観光振興について

○「花月楼」の活用について

Q 質問 勝山市では5月18日に第1回勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催し、勝山市版総合戦略の策定に取りかかった。総合戦略の中で、中心市街地への誘客施設として、「花月楼」を民間資本を導入した運営スキームで再整備し、「ゆめおーれ」と並ぶまちなか誘客の二つ目の目玉にしたいとのことだが、具体的な再整備の時期はいつを考えているか。

A 答弁

現在の建物を残すためには、大規模な施設改修が必要となるため、国・県の補助事業などによる財源の確保が前提となる。今年度中には、建物の保存活用方法と方向性を定められるよう県の補助事業があれば、その調整を図っていく。

現在、商工会議所を中心にして策定している「まちなか観光産業化計画」の中でも、花月楼の議論がされているので、所有者の同意、議会の理解を得ながら、(仮称)まちづくり会社の設立などを視野にいれ、将来性のあるよりよい形になるよう取り組んでいく。

総合戦略における観光振興について

○「道の駅」について

Q 質問 「道の駅」について、3年から4年後の開業を目指したいとのことだが、市内事業者や市民団体が時期と場所をしっかりとイメージする中で商品開発、運営への参加を検討していく時期と考える。「道の駅」の場所はどこを考えているのか。

A 答弁

早期開業を目指して、「道の駅」整備推進に係る業務を迅速かつ効率的に処理するための庁内推進チームを早急に設置し、その庁内推進チームを中心に手順を踏まえて、平成25年12月「恐竜の駅調査研究会報告書」に示した、候補地4ヶ所の一つに絞った「道の駅」の建設予定場所を、しかるべき時期にお示ししたい。



花月楼

乾議員

観光振興について

○観光産業振興体制の充実

勝山観光協会の育成・支援

Q 質問 昨年、公益法人となった当協会は、民間の立場で、観光業務推進を目的としており、当市観光産業振興のために果たす役割は大きく、その活躍を期待している。先日の総会で新役員が決まり高い使命感をもって再出発されたと感じるが、行政としてどのようにお考えか。

A 答弁

勝山市観光協会自らが、何のために存在するのか、会員個々は、何のために会員となっているのかを問い直すことが必要と考える。勝山市観光協会は勝山市全体の観光振興を図り、会員個々が自分たちの役割を果たすことで、個々の利益をいかに上げていくか、全体をより良くすること、個々の事業をより良くなることを目指す集団であるべきと考える。会員の目的があやふやで、創意や会員の総意がない状態、もしくは目的とするものが各自ばらばらのままの集合体では勝山市の観光推進は出来ないと考ええる。新体制となり、これまでの反省をふまえて、以前の体質から完全に脱却することが必要と考える。

恐竜文化の醸成について

Q 質問

市内のあちこちに恐竜ミニユメントが設置されている。しかし、福井駅等にも設置されてきており、恐竜王国の中核である当市として、ほかにまねのできない一味違った恐竜に関わる取り組みが必要と考える。そこで、恐竜を市民の文化として、お金がかからない形で、もっと親しみ、身近に感じる活動を育成、醸成していく取り組みを提案する。如何か。

A 答弁

文化を醸成していく気運が市民も盛り上げていくことが大切であり、その気運が盛り上がったところで、考え方に沿った講師、アドバイザーを招聘するなどの活動に取り組んでいきたいと考えている。また勝山市文化協会や勝山のまちづくり若手会などが参加し、活動の担い手になってもらえるよう考えていかなければならない。そういった意味でジオパーク活動のシステムを整備した。その中で若い人たちが、活動し活躍する。また、提案し、提案したことが実際に勝山市のメインイベントになる。分野は違いますが、九頭竜川をきれいにする活動、クリーンアップ九頭竜川などは、典型的な例と考えている。このような活動は、市としても積極的に支援していきたい。



恐竜ミニユメント

その他の質問
 空き家対策について
 空家等対策の推進に
 観光振興の有効活用
 観光情報収集・分析能力の強化
 観光振興の推進に関する特別措置法による効果
 観光情報収集・分析能力の強化

一般質問